

## 23 消費者問題に関する特別委員会

### 【第217回国会】

#### (1) 委員（35人）

|     |      |      |    |    |    |      |    |  |
|-----|------|------|----|----|----|------|----|--|
| 委員長 | 浦野   | 靖人君  | 維新 |    |    |      |    |  |
| 理事  | 勝俣   | 孝明君  | 自民 | 理事 | 中野 | 英幸君  | 自民 |  |
| 理事  | 松島   | みどり君 | 自民 | 理事 | 青山 | 大人君  | 立憲 |  |
| 理事  | 大西   | 健介君  | 立憲 | 理事 | 尾辻 | かな子君 | 立憲 |  |
| 理事  | 伊東   | 信久君  | 維新 | 理事 | 西岡 | 義高君  | 国民 |  |
|     | 今枝   | 宗一郎君 | 自民 |    | 上野 | 賢一郎君 | 自民 |  |
|     | 加藤   | 鮎子君  | 自民 |    | 小池 | 正昭君  | 自民 |  |
|     | 高木   | 啓君   | 自民 |    | 武村 | 展英君  | 自民 |  |
|     | 永岡   | 桂子君  | 自民 |    | 中西 | 健治君  | 自民 |  |
|     | 野田   | 聖子君  | 自民 |    | 福原 | 淳嗣君  | 自民 |  |
|     | 三反園  | 訓君   | 自民 |    | 若山 | 慎司君  | 自民 |  |
|     | 井坂   | 信彦君  | 立憲 |    | 石川 | 香織君  | 立憲 |  |
|     | 大河原  | まさこ君 | 立憲 |    | 大島 | 敦君   | 立憲 |  |
|     | おおつき | 紅葉君  | 立憲 |    | 松田 | 功君   | 立憲 |  |
|     | 山田   | 勝彦君  | 立憲 |    | 山井 | 和則君  | 立憲 |  |
|     | 梅村   | 聡君   | 維新 |    | 丹野 | みどり君 | 国民 |  |
|     | 角田   | 秀穂君  | 公明 |    | 沼崎 | 満子君  | 公明 |  |
|     | たがや  | 亮君   | れ新 |    | 本村 | 伸子君  | 共産 |  |

#### (2) 設置の目的

消費者の利益の擁護及び増進等に関する総合的な対策を樹立するため

#### (3) 議案

付託された議案は内閣提出法律案1件及び議員提出法律案1件（継続審査）で、審査等の概況は次のとおりである。

#### 公益通報者保護法の一部を改正する法律案（内閣提出第32号）

（詳細は「第1－2(8)消費者行政関係」（22ページ）参照）

##### ○ 要旨

国民の生命、身体、財産その他の利益の保護に関わる法令の規定の遵守を図るため、公益通報者の範囲を拡大するとともに、公益通報をしたことを理由とする不利益取扱いの禁止等の措置を強化するほか、公益通報に適切に対応するために事業者がとるべき措置の充実強化を図るための措置を講ずるもの

##### ○ 参考人からの意見の聴取

##### ○ 結果

修正（附帯決議が付された。）

##### <修正内容>

検討規定について、検討の目途を「施行後5年」から「施行後3年」とするもの

○ 経過

| 提出日           | 衆・本会議<br>趣旨説明 | 衆・委員会       |                                  |   | 衆・本会議<br>議決日<br>結果 | 参・委員会<br>議決日<br>結果        | 参・本会議<br>議決日<br>結果 | 公布日<br>番号     |
|---------------|---------------|-------------|----------------------------------|---|--------------------|---------------------------|--------------------|---------------|
|               |               | 付託日<br>趣旨説明 | 質疑                               | 議決日<br>結果   |                    |                           |                    |               |
| 令和<br>7. 3. 4 | 4. 15         | 4. 15       | 4. 17<br>4. 22<br>4. 23<br>4. 24 | 4. 24<br>修正(全)<br>(賛-自民・立憲・維新・<br>国民・公明・れ新・<br>共産)<br>(附) | 4. 24<br>修正        | 消費者特<br>6. 2<br>可決<br>(附) | 6. 4<br>可決         | 6. 11<br>法62号 |

消費者対応業務関連特定行為対策の推進に関する法律案（丹野みどり君外1名提出、第216回国会衆法第21号）

○ 要旨

消費者対応業務関連特定行為対策に関し、基本理念を定め、国の責務等を明らかにし、及び基本方針の策定その他消費者対応業務関連特定行為対策の基本となる事項を定めるもの

○ 結果

（審査未了）

○ 経過

| 提出日               | 衆・本会議<br>趣旨説明 | 衆・委員会       |    |           | 衆・本会議<br>議決日<br>結果 | 参・委員会<br>議決日<br>結果 | 参・本会議<br>議決日<br>結果 | 公布日<br>番号 |
|-------------------|---------------|-------------|----|-----------|--------------------|--------------------|--------------------|-----------|
|                   |               | 付託日<br>趣旨説明 | 質疑 | 議決日<br>結果 |                    |                    |                    |           |
| (令和<br>6. 12. 18) |               | 7. 1. 24    |    | (審査未了)    |                    |                    |                    |           |

(4) 国政調査

国政調査では、質疑、決議及び視察が行われた。主な質疑内容は、次のとおりである。

○ 主な質疑内容

- ・ 第5期消費者基本計画における安心、安全で豊かな消費社会の実現
- ・ 令和3年の特定商取引法改正の効果の分析・評価、今後の方針等に対する消費者担当大臣の見解
- ・ 定期購入の解約トラブルにおいて連絡がつかない業者に対する解決方法
- ・ 消費生活相談員人件費に充てられる交付金等の財政措置を拡充する必要性
- ・ 施行後2年経過した不当寄附勧誘防止法の実効性に対する消費者担当大臣の評価
- ・ 食品寄附の促進に向けた消費者庁の取組
- ・ インターネット詐欺対策としてプラットフォーム事業者へ注意喚起する必要性

(5) 決議

決議は1件で、その内容は次のとおりである。

地方消費者行政の充実・強化に関する件（令和7.6.5）

地域における消費者行政は、住民の消費生活における安全・安心確保の根幹であり、質の高い相談・救済が受けられる体制を全国的に維持・拡充することは、被害の防止

を含め消費者全体の利益に資するものであり、消費者政策の最重要課題の一つである。政府は、このような認識のもと、地方消費者行政の充実・強化に向け、次の事項について適切な措置を講じるべきである。

- 1 地方消費者行政強化交付金推進事業の活用期限を終えた地方公共団体が、引き続き消費生活センターの運営等を継続できるよう必要な対策を講じること。
  - 2 消費生活相談員による日々の相談対応の成果が、情報集約・共有システム（PIO-NET）を通じて国の消費者行政の企画・立案・執行に不可欠な基盤となっていることに鑑み、消費生活相談員がその能力を十全に発揮できる環境整備とともに、地方公共団体において消費生活相談員の専門性に見合った処遇が促進されるよう、必要な対策を講じること。
  - 3 高齢化の加速、単身世帯の増加等の環境変化に対応するため、見守り活動や出前講座の充実など、積極的に地域に出向くことができるよう消費生活センターの体制整備を促進するために必要な対策を講じること。
  - 4 全国的な人手不足の中、消費生活相談員の担い手確保や計画的な人材育成、専門性のさらなる向上など人材強化のために、地方公共団体が地域の実情に応じた取組を展開できるよう必要な対策を講じること。
  - 5 上記の対策を講じるに際しては、人口減少・高齢化の加速、単身世帯の増加、デジタル化等地方消費者行政を取り巻く環境変化に地方公共団体が適切かつ安定的に対応できるよう、地方消費者行政強化交付金の仕組みを見直すこと。
  - 6 現在進められている新しいPIO-NETへの移行を円滑かつ着実に実現し、消費者の利便性向上及び消費生活相談員の負担軽減、業務効率化を図ること。
- 右決議する。

(6) 参考人

| 出頭日            | 職 業                                    | 氏 名    | 審査・調査案件                   |
|----------------|--|--------|---------------------------|
| 令和<br>7. 4. 22 | 東京大学大学院法学政治学研究科教授                      | 山本 隆司君 | 公益通報者保護法の一部を改正する法律案（内閣提出） |
|                | 全国商工会連合会中小企業問題研究所所長                    | 土井 和雄君 |                           |
|                | 元トナミ運輸社員                               | 串岡 弘昭君 |                           |
|                | 弁護士<br>市民のための公益通報者保護法の抜本的改正を求める全国連絡会幹事 | 志水芙美代君 |                           |
|                | 上智大学文学部新聞学科教授                          | 奥山 俊宏君 |                           |

(7) 視察

| 視察日           | 視察地名 | 視察目的          | 視察委員 |
|---------------|------|---------------|------|
| 令和<br>7. 6. 2 | 千葉県  | 消費者問題に関する実情調査 | 15人  |



八千代市消費生活センター（千葉県八千代市）

## 【第218回国会】

### (1) 委員 (35人)

|     |      |      |    |    |    |      |    |  |
|-----|------|------|----|----|----|------|----|--|
| 委員長 | 浦野   | 靖人君  | 維新 |    |    |      |    |  |
| 理事  | 勝俣   | 孝明君  | 自民 | 理事 | 中野 | 英幸君  | 自民 |  |
| 理事  | 松島   | みどり君 | 自民 | 理事 | 青山 | 大人君  | 立憲 |  |
| 理事  | 大西   | 健介君  | 立憲 | 理事 | 尾辻 | かな子君 | 立憲 |  |
| 理事  | 伊東   | 信久君  | 維新 | 理事 | 西岡 | 義高君  | 国民 |  |
|     | 今枝   | 宗一郎君 | 自民 |    | 上野 | 賢一郎君 | 自民 |  |
|     | 加藤   | 鮎子君  | 自民 |    | 小池 | 正昭君  | 自民 |  |
|     | 高木   | 啓君   | 自民 |    | 武村 | 展英君  | 自民 |  |
|     | 永岡   | 桂子君  | 自民 |    | 中西 | 健治君  | 自民 |  |
|     | 野田   | 聖子君  | 自民 |    | 福原 | 淳嗣君  | 自民 |  |
|     | 三反園  | 訓君   | 自民 |    | 若山 | 慎司君  | 自民 |  |
|     | 井坂   | 信彦君  | 立憲 |    | 石川 | 香織君  | 立憲 |  |
|     | 大河原  | まさこ君 | 立憲 |    | 大島 | 敦君   | 立憲 |  |
|     | おおつき | 紅葉君  | 立憲 |    | 松田 | 功君   | 立憲 |  |
|     | 山田   | 勝彦君  | 立憲 |    | 山井 | 和則君  | 立憲 |  |
|     | 梅村   | 聡君   | 維新 |    | 丹野 | みどり君 | 国民 |  |
|     | 角田   | 秀穂君  | 公明 |    | 沼崎 | 満子君  | 公明 |  |
|     | たがや  | 亮君   | れ新 |    | 本村 | 伸子君  | 共産 |  |

### (2) 設置の目的

消費者の利益の擁護及び増進等に関する総合的な対策を樹立するため

### (3) 議案

付託された議案はなかった。

### (4) 議員海外派遣

| 派遣議員団                              | 派遣期間                           | 派遣国名                    | 派遣目的                             | 派遣議員 |
|------------------------------------|--------------------------------|-------------------------|----------------------------------|------|
| 衆議院スウェーデン、ドイツ及びベルギーにおける消費者問題等調査議員団 | (閉会中)<br>令和 7. 8. 26<br>～ 9. 4 | スウェーデン、<br>ドイツ、ベルギ<br>ー | スウェーデン、ドイツ及びベルギーにおける消費者問題等に関する調査 | 3人   |

## 【第219回国会】

### (1) 委員 (35人)

|     |     |      |    |    |     |      |    |
|-----|-----|------|----|----|-----|------|----|
| 委員長 | 三木  | 圭恵君  | 維新 |    |     |      |    |
| 理事  | あべ  | 俊子君  | 自民 | 理事 | 五十嵐 | 清君   | 自民 |
| 理事  | 小林  | 史明君  | 自民 | 理事 | 青山  | 大人君  | 立憲 |
| 理事  | 尾辻  | かな子君 | 立憲 | 理事 | 山田  | 勝彦君  | 立憲 |
| 理事  | うるま | 譲司君  | 維新 | 理事 | 丹野  | みどり君 | 国民 |
|     | 大空  | 幸星君  | 自民 |    | 勝目  | 康君   | 自民 |
|     | 加藤  | 鮎子君  | 自民 |    | 岸   | 信千世君 | 自民 |
|     | 草間  | 剛君   | 自民 |    | 小池  | 正昭君  | 自民 |
|     | 武村  | 展英君  | 自民 |    | 永岡  | 桂子君  | 自民 |
|     | 中西  | 健治君  | 自民 |    | 野田  | 聖子君  | 自民 |
|     | 福原  | 淳嗣君  | 自民 |    | 宮路  | 拓馬君  | 自民 |
|     | 井坂  | 信彦君  | 立憲 |    | 大河原 | まさこ君 | 立憲 |
|     | 大西  | 健介君  | 立憲 |    | 川原田 | 英世君  | 立憲 |
|     | 長谷川 | 嘉一君  | 立憲 |    | 松田  | 功君   | 立憲 |
|     | 眞野  | 哲君   | 立憲 |    | 早稲田 | ゆき君  | 立憲 |
|     | 美延  | 映夫君  | 維新 |    | 日野  | 紗里亜君 | 国民 |
|     | 沼崎  | 満子君  | 公明 |    | 濱地  | 雅一君  | 公明 |
|     | たがや | 亮君   | れ新 |    | 本村  | 伸子君  | 共産 |

### (2) 設置の目的

消費者の利益の擁護及び増進等に関する総合的な対策を樹立するため

### (3) 議案

付託された議案はなかった。

### (4) 国政調査

国政調査では、質疑が行われた。主な質疑内容は、次のとおりである。

#### ○ 主な質疑内容

- ・ 消費者担当大臣のリーダーシップの下、インターネット・SNS上に氾濫する違法広告・偽広告の積極的な情報収集体制を構築し、問題に取り組む必要性
- ・ EUの状況も踏まえ、公益通報者保護における内部通報制度の体制整備に関して企業側の意識改革の必要性
- ・ 香害問題の更なる周知・啓発のため、リーフレットの作成等を検討する必要性
- ・ 任意となっているゲノム編集食品の届出を義務化する必要性
- ・ ダークパターンが我が国の現行法に抵触する可能性及び諸外国の動向を踏まえた法改正の必要性
- ・ 大阪・関西万博における食品ロス削減対策の成果
- ・ 消費生活相談員の待遇改善に向けた対応方針
- ・ 健康食品に係る規制の在り方
- ・ 消費者担当大臣の発言における「時代に即した食品表示」の具体的意味
- ・ 輸入食品における残留農薬の安全基準について、スナック菓子の摂取の現状等を踏まえた再評価をする必要性